



① 【協力依頼】能登半島地震被災者支援

② 地域経済動向調査 REPORT

郡上市商工会 LINE公式アカウントを開設しました！
QRコードを読み込んで、ぜひ友だち追加お願いします
経営支援施策の最新情報をいち早くお知らせします！



リアルタイム被害予測 web サイト “cmap” アプリの紹介

昨今甚大な被害を及ぼす自然災害が多く発生しております。被害地区にお客様や取引先がある場合、被害状況の早期把握によりリスク回避や新たな事業に繋がることもあります。また通常時は災害対策として洪水土砂のハザードマップとしてご活用できます。郡上市商工会のHP にバナーを掲載しておりますのでご利用ください



【専門家相談窓口 カレンダー】

支援内容	2月相談日	支援内容	3月相談日
経営	5日(月) 20日(火)	経営	6日(水) 25日(月)
法律	22日(木)	法律	12日(火)
税務	6日(火) 20日(火)	税務	5日(火) 19日(火)
労務	14日(水)	労務	13日(水)
知財	21日(水)	IT	15日(金)

【貸付利率情報】

令和6年1月31日時点

融資制度名	利率 (%)	保証率 (%)	適用
経営改善貸付	1.20	—	
普通貸付	1.10~3.20	—	
創業ローン	0.90	—	創業
市チャレンジ	1.9	0.8	創業
支援融資	2.1	0.45~1.9	異業種
市小口融資	0.75	0.5~2.2	

《 出張所カレンダー 》

		2月	3月	
大和	火	3月15日(金)までの平日は 税務相談のため開所します。	19	26
白鳥	木		21	28
高鷲	水		27	
美並	木	月・火・水・木曜日開所	21	28
明宝	火	火・水・金曜日開所	19	26
和良	水	火・水曜日開所	27	

※ 都合により出張所開設日であっても閉所させていただくことがあります。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

小規模企業景気動向調査 [2023年11月期調査]

～行楽シーズンや省エネ需要の伸びから、明るい兆しが見え始めた小規模企業景況～

<産業全体>

11月期の産業全体の景況は、全DIが小幅に改善した。全国的に異例の暑さが続いた結果、行楽シーズンが長期化し、小売業・サービス業を中心に需要が活発化した。人手不足やコスト高騰は続いている一方で、消費者のコスト高への意識の高まりから、省エネ関連の需要が増加している、とのコメントがあった。依然として、コスト高やゼロゼロ融資の返済に苦慮する事業者はいるものの、明るい兆しが見え始めている。

	DI	10月	11月	前月比
売上額		7.7	11.6	3.9
採算	▲	27.5	▲ 22.8	4.7
資金繰り	▲	22.3	▲ 17.7	4.6
業況	▲	16.1	▲ 11.9	4.2

<製造業(食料品、繊維、機械・金属)> 年末需要や生産拠点の国内回帰で受注が増加傾向の製造業

製造業は、全DIが改善し、売上額・採算DIが小幅に改善、資金繰りDIが大幅に改善した。食料品関連は、年末商戦に向け受注が増加傾向にあり、全DIが改善し、特に採算・資金繰りDIが大幅に改善した。繊維関連は、売上額・採算DIがわずかに改善、資金繰り・業況DIがわずかに悪化。生糸等の原材料費が高騰する等、コスト高が続く。機械・金属関連は、全DIが改善し、特に売上額・資金繰りDIが大幅に改善。生産拠点の国内回帰により受注件数を伸ばす事業者がある、とのコメントが見られた。

	DI	10月	11月	前月比
売上額		5.9	10.2	4.3
採算	▲	32.2	▲ 29.0	3.2
資金繰り	▲	26.4	▲ 20.4	6.0
業況	▲	17.1	▲ 15.3	1.8

<建設業> 公共事業・民間事業共に受注好調も、人手不足やインボイス対応に苦慮する建設業

建設業は、全DIが大幅に改善した。採算DIにおいては2桁ポイントに迫る改善となった。降雪前の公共事業の受注がピークを迎え始め、民間工事では電気・ガス代高騰へ対応するために、省エネ補助金を活用したリフォーム需要が増加した。一方、現在の課題として、慢性的な人手不足に加え、インボイス対応への事務作業の増加を挙げる事業者も増えている。インボイス登録の有無で、下請先との価格設定の調整等に時間が割かれるため、発注先を見直す事業者もある、とのコメントが見られた。

	DI	10月	11月	前月比
売上額		8.3	13.8	5.5
採算	▲	33.1	▲ 23.8	9.3
資金繰り	▲	27.3	▲ 18.9	8.4
業況	▲	20.5	▲ 13.1	7.4

<小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)> 外出機会の増加で、全DIが直近1年で最も高まった小売業

小売業は、全DIが改善し、中でも、売上額・業況DIが大幅に改善した。異例の夏日が続き、秋の行楽シーズンが長期化したことで、外出機会が増加し、直近1年で全DIが最も高い数値を示した。衣料品関連は、売上額・業況DIが大幅に改善した一方で、資金繰りDIが小幅に悪化。異例の暑さで秋物の動きは鈍かったが、急激な気温低下と共に冬物衣料の需要が増加した。食料品関連は、外出に伴う消費の増加から売上額・資金繰りDIが小幅に改善し、採算・業況DIが大幅に改善した。耐久消費財関連は、売上額・資金繰り・業況DIが大幅に改善。省エネ関連の消費財が伸びを見せている。

	DI	10月	11月	前月比
売上額	▲	1.1	4.8	5.9
採算	▲	33.2	▲ 29.3	3.9
資金繰り	▲	25.8	▲ 23.0	2.8
業況	▲	25.4	▲ 19.1	6.3

<サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)> 好調な旅館関連が、全体を牽引するサービス業

サービス業は、資金繰り・業況DIがわずかに改善し、採算DIが小幅に改善。旅館関連は、国内外の観光需要により、売上額・採算・資金繰りDIが小幅に改善した。採算DIは全業種中、唯一プラスで推移している。クリーニング関連は、業況DIが小幅に改善した一方で、売上額DIが小幅に悪化。需要の減退期ではあるが、売上額DIはプラスを維持しており、業況は上向きである。理・美容関連は、採算DIが小幅に改善した一方で、業況DIがわずかに悪化。サービス等で他店との差別化を図る事業者が増えている。

	DI	10月	11月	前月比
売上額		17.5	17.3	▲ 0.2
採算	▲	11.5	▲ 9.4	2.1
資金繰り	▲	9.8	▲ 8.5	1.3
業況	▲	1.4	▲ 0.3	1.1

調査概要

- ・調査対象：全国302商工会の経営指導員（有効回答数：230/回答率76.1%）
- ・調査時点：2023年11月末
- ・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。